

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	歴史	担当教員	中村史信			
学年学科	1 年 全学科	開講時間数	通年 2 時間	必修	単位数	2 単位
学習・教育目標	(A-1) 100%			JABEE 基準 1 (1) (a) 50%、(f) 50%		
授業の目標と期待される効果： 1 年生の歴史は世界史的分野の内容を学習する。授業では、とくに 17 世紀以降の近・現代史に焦点を合わせて考察を進める。いわゆる各国史の総合ではなく、さまざまな結びつきからなる世界史像をめざす。くわえて、日本や日本人と世界とのつながりも意識する。具体的な目標は以下の通り。 ①世界史的知識を広げる。 ②歴史的内容を論理的に考察し、説明する力を養う。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心を深める。 ④「現在」に対する複眼的な見方を養う。			成績評価の方法： 以下の総得点 500 点に占める得点率で最終評価を行なう。 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題提出 50 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題提出 50 点 達成度評価の基準： 以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。 ①世界史についての正しい知識を習得したか。 ②歴史的内容を論理的に考察し、説明する力がついたか。 ③異文化や多様な価値観への理解・関心が深まったか。 ④「現在」に対する複眼的な見方がついたか。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書・図説（資料集）を使用した講義形式で行なう。質問票の提出を適時求め、授業にフィードバックする。「世界とは何か？」「歴史とは何か？」「世界・歴史をどのような視点から眺めるのか？」このような問いを自らに投げかけ、「過去」との対話を通じて、自分の視野を時間的・空間的に広げてほしい。受講者の興味・関心を喚起するような書籍や画像・映像資料をできるだけ紹介する。						
教科書および参考書： 『詳説世界史』（山川出版社）を教科書とし、『最新世界史図表タペストリー』（帝国書院）を副教材として使用する。その他、必要に応じてプリント等を配布する。						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：イントロダクション——なぜ歴史を学ぶのか						
第 2 回：「古代／中世／近代」						
第 3 回：世界の諸宗教						
第 4 回：ヨーロッパの海外進出と植民地						
第 5 回：産業革命（1）						
第 6 回：産業革命（2）						
第 7 回：アメリカ独立革命						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：フランス革命						
第 10 回：ナポレオンという時代						
第 11 回：資本主義体制の確立						
第 12 回：ウィーン体制とその崩壊						
第 13 回：アメリカ合衆国の発展						
第 14 回：「西洋の衝撃(ウエスタン・イパク)」とアジア（1）						
第 15 回：「西洋の衝撃(ウエスタン・イパク)」とアジア（2）						
期末試験						
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期

第17回：世界史のなかの明治維新

第18回：帝国主義と「世界の一体化」

第19回：アジア諸国の改革と民族運動

第20回：第一次世界大戦

第21回：社会主義革命

第22回：ヴェルサイユ体制下の国際社会

第23回：戦間期のアジア諸地域

第24回：中間試験

第25回：世界恐慌とファシズム

第26回：第二次世界大戦（1）——開戦前後のヨーロッパ

第27回：第二次世界大戦（2）——太平洋戦争

第28回：第二次世界大戦（3）——日本の敗戦

第29回：東西冷戦

第30回：冷戦の終焉、多極化する世界

第31回：第三世界の多元化と地域紛争

期末試験

第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）